

# 精華町教育委員会会議録

平成28年（第9回）

- 1 開 会 平成28年9月28日(水) 午前10時30分  
閉 会 平成28年9月28日(水) 午前11時27分

- 2 出席委員 伊藤委員長 中谷委員 蓑毛委員 細川委員  
太田教育長

3 出席事務局職員

岩崎教育部長	北澤総括指導主事
竹島学校教育課長	仲村生涯学習課長
森川図書館長	山崎学校教育課主幹

- 4 傍聴者 なし

5 議事の概要

(1) 開会

委員長から第9回教育委員会の開会を宣言。

(2) 前回会議録について

教育部長から平成28年第8回教育委員会の会議録について説明。

【意見等】

- ・特になし

【採 決】

- ・全員承認

(3) 教育長報告事項

前回報告させていただいた中高一貫教育の進捗について、南陽高校に附属中学校を設置することに関する要望書を9月7日に町長から知事に対して、また私から府教育委員会教育長に対して提出した。

中身については、府の方針に沿って府内における中高一貫教育の一定の成果が見られており、学研都市という地の利も生かしての中高一貫校をつくる意義はあるだろうということで、附属中学の設置をお願いしており、この設置により、国内外の大きな舞台に飛躍するとともに、学研都市の未

来を担う有為な人材の育成が図られることを期待する旨述べている。ただし、設置にあたり3つの点について配慮をお願いした。

1点目は、現状として町内中学校の生徒数が減少に転じていることから、適正な学校規模が維持されるようにということ。2点目は、小学校段階からの過度な受験競争が生じないようにということ。そして3点目は、精華町立学校との連携推進によって本町義務教育の一層の充実が図られるよう格段の配慮を願いたいということで、要望書を提出した。

その後の動きとして、9月15日の京都府議会の本会議第1日目では地元選出の兎本議員からの質問に答える形で府の教育長が中高一貫校の導入について検討を表明する旨の答弁があった。

#### (4) 諸報告

##### 教育部長 1 9月会議について

9月5日に開会し、29日が最終日である。21日には予算決算常任委員会も終了し、全議案について各委員会で可決承認いただき、残すところ本会議で可決承認をいただくのみというところである。

9月6日から8日にかけて開催された一般質問について、教育部関係では7名の議員から質疑があった。

三原議員からは、小・中学校運動場の使用規定はあるかとの質問があった。使用規定は設けていないが、決められた時間内において自由に使用している旨の答弁を行った。

村田議員からは、教育支援室の開設の背景と目的や職員構成、支援内容について質問があった。子どもを取り巻く環境の大きな変化により、生徒指導上の困難な課題等が増加傾向にあり、その課題解決に対する支援を目的とし、総括指導主事を含む5人体制であること、そして保護者や地域住民、学校からの相談に対して関係諸機関との連携も含め指導助言を行うこととする旨の答弁を行った。

今方議員からは、がん教育について、生命のがん教育推進プロジェクト事業の取り組みの現状と児童生徒らの反響、成果はどうかとの質問があった。現状の学校における取り組み内容と子どもたちの反応に対する報告、そして今後がん教

育の推進に取り組む旨の答弁を行った。

山本議員からは、文化芸術活動に関して、主催・共催・協力・後援などの基本的な取り扱いと支援の考え方、取り扱いの統一化を図るための規定化、施設利用する場合の支援の具体的内容とその措置及び学研都市の町内各企業や府との連携、そして今後期待するものについての質問があった。まず、町としての主催等の取り扱いと考え方について答弁をし、取り扱いの規定化については、多様な形態がある文化芸術活動に対し統一的な基準を設けることは難しいという現状、また、支援内容や措置については町の減免等の考え方、企業や京都府との連携については、現在の連携状況など今後も継続することへの期待について答弁を行った。

内海議員からは発達障害児などの読み書きが困難な方々への支援策にデイジー教科書を導入することに関して、町の見解とこれまでの検討状況と今後の取り組みについて質問があった。過去の質問同様の答弁であるが、デイジー教科書の普及とその必要性についての認識、そして導入に当たっての課題と、そして今後の試行的な実施について答弁を行った。

柚木議員からは、学校での平和教育支援や平和をテーマにした住民の生涯学習についての質問があった。小・中学校でのこの間の平和教育の取り組みの現状及び、昨年8月生涯学習として取り組んだ戦後70周年記念事業について答弁を行った。

宮崎議員からは、さらなる文化（音楽）の振興に係る施設整備に関して、グランドピアノ寄附の進捗状況についての質問があった。グランドピアノの文化振興のための有効性の認識と寄附を受納した場合の課題、そして進展が今のところない旨の答弁を行った。

予算決算常任委員会については、体育協会の決算状況やスクールカウンセラーの有効性などについて質問があった。

- 総括指導主事 1 生徒指導報告について  
(1) 小学校について

夏休み中であったため報告はなし。

(2) 中学校について

1 件のみインターネット上（LINE）でのトラブルの報告あり。

総括指導主事 2 いじめの重大事象について

個々の具体的な事象については、個人情報に関する内容であり、精華町教育委員会会議規則第16条の規定により非公開とすることができるため会議に諮られ、「異議なし」としてこの議案については非公開となった。

総括指導主事 3 各種大会の成績結果について

それぞれ各中学校とも健闘いただいている。全国大会に出場した陸上のリレーでは予選落ちとなり決勝まで残る事は出来なかったが、健闘いただいたと聞いている。近畿の大会ではソフトテニス部、水泳部ともに頑張っていた。吹奏楽部については、今年度は精華西中学校が府大会で金賞、そして関西大会へは大編成の部が銀賞を得たとのことで、大健闘していただいた。ジュニアオリンピックについては、通信陸上で標準記録を突破するだろうとのことであるが、まだ結果は未定である。

総括指導主事 4 全国学力・学習状況調査の結果の速報値について

国のほうで分析に不備があり、本来なら8月末に返ってくるところ、今現在も学校の手元には返っていない。9月20日に所管の教育委員会に届いているが、学校に返るのが9月26日、報道発表が9月29日、新聞掲載が9月30日とのことである。詳細は不明であるが、他府県の集計結果に問題があったと聞いており、京都府は大きく変わらないということであったため、速報値ということで出させていただいた。

精華町の結果については、京都府の平均、全国の平均と比較したところ、昨年、一昨年同様全ての教科において上回っている。昨年度の調査科目には理科が含まれていたが、今年度は国語・算数・数学のみとなっている。

府や国と精華町の差の開き具合について昨年度と比較した

ところ、例えば小学校第6学年について、国語Aは同じぐらいであるが、国語Bでは差が開いており、伸びてきている。算数Aも伸びてきており、算数Bは昨年度と同じぐらいであると見ることができる。中学校第3学年については、昨年度とさらに差が開いている。数学Bに関しては同じぐらいか少し差が縮まっているが、全体として各教科とも頑張ったと感じている。

詳細な分析については、広報誌「華創」、ホームページに小学校・中学校・質問紙と3回に分けて掲載していきたいと考えている。

学校教育課長 1 精華中学校第7回収穫祭について

10月29日(土)午前中に精華中学校にて、今年で第7回目となる収穫祭が開催される。時間等あればお越しいただきたい。

学校教育課長 2 精華西中学校創立20周年記念式典について

10月29日(土)に精華西中学校の創立20周年記念式典が行われる8時半からオープニングセレモニー、9時から記念式典ということで、委員の皆様には追って案内があるかと思うが、詳細については案内を見ていただき、参加をお願いしたい。

学校教育課長 3 就学時健康診断について

今年度についても、来年4月に小学校に入学されるお子さんを対象に、各5小学校で10月13日から順次、就学時健康診断が始まる。校医さんとの日程調整で毎週木曜日に行われることになり、ホームページでも周知させていただいている。

図書館長 1 精華町立図書館資料等の複写サービス取扱要領について

図書館では従来から運営規則に基づき、著作権法が認める範囲内で複写サービスを行っており、また図書館独自の複写サービス取扱要領も作成している。ところが、図書館をめぐる状況等の変化が反映できていない箇所があった為、今回見直しをし、追加項目を入れ要領を作成し直した。

## 図書館長 2 平成27年度の活動報告（図書館年報）について

### （1）沿革及び行事について

平成27年4月に子どもの読書環境づくり推進協議会による「精華町子どもの読書環境整備5か年計画」を策定した。これは図書館以外に学校図書館部会、地域家庭部会、教育委員会全体で作成したものである。

赤ちゃんタイムについては、前年度の12月から3月まで試行を行い昨年4月から本格実施した。毎月第1水曜に小さい子ども向けのおはなし会を開催しており、その後は参加いただいたお母さん方に情報交換の場を設けている。参加者数については、前年度平均16組、赤ちゃんを含めて30名余りだったところ、今年度は平均19組とやや増加している。

門脇文庫の図書の貸し出しを、雑誌は今年の5月から、閉架図書は今年の8月から開始した。開設当初は館内閲覧のみと限定していたが、利用者の希望等により貸し出しを開始させていただくこととした。利用件数はそれほど多くはないが、調査研究、学習で利用したり等、コンスタントに利用されている状況である。

企画展示については、大人向け、子ども向けについてそれぞれ行っているが、27年度は特に従来より多く開催した。特に時宜にかなったもの、図書館の行事に関わるもの、町の事業と関連するものについても展示し、図書館の資料をできるだけ活用するという趣旨でやっている。

### （2）学校との連携について

小学校を中心に全体で2万1,000冊余りの団体貸し出しを行っている。

### （3）資料の所蔵状況について

平成27年度について、購入冊数は4,500冊余り、寄贈の資料は568冊の合計5,079冊の資料を受け入れた。寄贈資料の中には「門脇文庫」で未整備だった分や、ほかの団体・個人から頂いたものが含まれている。今年の3月時点の総蔵書冊数は18万5,139冊である。資料として

は、その他、視聴覚資料、雑誌等も所蔵している。

#### (4) 利用状況について

登録者数は3万6,295人と町内在住の方を中心に町外の方も含まれた数字になっている。個人貸し出し冊数については本館で41万9,455冊、移動図書館で1万1,166冊、合計で43万621冊であり、団体貸し出し冊数の2万4,177冊を足すと総計45万4,800弱の冊数の資料を貸し出ししている。

地域別では広域貸し出しの協定を結んでいるため、町外で旧木津町等、従来どおり利用が多い。

予約件数として2万3,237件となっているが、他の同種の図書館に比べるとかなり多い件数となっている。この予約は、所蔵資料に対する予約、未所蔵のものに対する予約を含んでいる。所蔵資料については、貸し出し中の場合は待っていただいてから提供する流れになるが、未所蔵のものは図書館間のネットワークがあるため、そこで借り受けて提供することもある。また、図書館で常に置いてくべきもので漏れているものがあれば、新規購入して対応させていただいている。

#### (5) 過去5年間の推移について

個人貸出件数について、平成24・25年度は45万余りであったが、平成26年度に関しては2万ほど減少した。また、平成27年度については、26年度よりやや増加した数字になっている。この平成24・25年度の増加、及び平成26年度での減少の原因については学校の図書室が整備され子どもの利用が減ったということ、また近隣の広域利用者が減ったことも考えられる。それよりも24年度に貸出冊数を6冊から10冊に増加したため、24・25年については上限に近い冊数を借りていただいた状況があった。しかし貸出期間が2週間で読める冊数も限られてくることから、かつての数字に近い冊数に落ち着いたのではないかという見方もしている。今後も出来るだけ利用が向上するよう努めてまいり

たい。

(6) 各種指標について

貸出点数の43万621あるいはリクエストに関しては、人口3万から4万の町村図書館の貸し出し実績から見た場合、精華町は上位になる。これは従来から現在も継続している状況である。

(7) その他

巻末に設置条例、運営規則を掲載している。

生涯学習課長 1 平成28年度青少年健全育成標語の入賞作品について

毎年青少年健全育成協議会で行っている標語の募集を行い、総応募点数が2,024点の中から選考委員会で決定したものである。

小学校の部においては、最優秀賞として「『やめようよ』その一言で 救われる」の精北小学校5年の西井希美さんの作品が選ばれた。中学校は、最優秀賞で「『おかえり』が飛び交う町の あたたかさ」ということで、精華南中学校3年の寺中真璃さんの作品が選ばれた。

これらの作品については今後、啓発物品であるのぼりの標語、せいか祭りで配布を予定をしているティッシュに差し込み掲載して、啓発に努めていきたいと考えている。

生涯学習課長 2 精華町教育委員会所管施設指定管理者評価委員会における審査及び評価結果について

むくのきセンターをはじめとした町内体育施設について、指定管理者としてNPO法人精華町体育協会にお願いしているところであるが、その運営状況について第三者の評価委員会で評価した結果である。

指定期間5年のうち3年目を迎えているが、概ね好評価をいただいたと認識している。

なお、今回において評価委員の変更があったので報告させていただく。評価委員会の評価については、1号委員、学識経験者、2号委員、社会教育委員、3号委員として地域を代表する者とのことで、学識経験者においては昨年度まで京都

教育大学の中先生にお願いしていたが、今年から京都府立大学の勝山先生にお願いしている。勝山先生は京都府の職員であり、京都府立体育館に就職された際、最初に配属されたのが府立体育館で体育施設管理士の資格も持っておられる。それ以外の指定管理者制度等に関連する業務についても従事されてきた経験があり、ヒアリング、詳細な分析を行った中で評価していただいている。

なお、2号委員の社会教育委員においても、今年から吉川先生にお願いしている。

生涯学習課長 3 子ども祭りについて

子ども祭りのチラシができたので案内させていただく。来月の10月15日に開催され、内容においては昨年と大きく変更した点はないが、屋外で消防署による起震車体験が新たに加わっている。昨年度は消防が入っていなかったが、今年は久々に入っていた。ご承知のほどよろしくお願ひしたい。

開催時期については、年度末の3月から、今年においては従来どおり10月に開催する。

なお、このチラシについては各戸配布をしているが、一部訂正がありホームページでおわび記事を掲載中である。学校分については再度修正した分を児童生徒に配布したいと考えている。

生涯学習課長 4 せいかマラソンについて

せいかマラソンのチラシができたので改めて案内する。

11月6日むくのきセンターを出発ゴール地点とした河川敷のコースとなっており、競技種目はジョギングと3km、5km、10kmがある。

参加の締め切りについては10月2日までとなっており、参加希望の方が周りにおられるようであれば、ご案内していただきたい。

【委員の意見等】

伊藤委員長 いじめの重大事態について府からの発表に関して、精華町

からは丁寧にしっかりと報告しているが、精華町がいじめ対策に関連する付属機関等を含め十分な対応を積み上げてきていることについて、府教委は受けとめて対応していると判断してよいか。

太田教育長            その都度報告しているの、府教委も大体の動きは認識している。府教委からは精一杯の対応を行ったのではないかとの評価であった。

伊藤委員長            全国的に子どもたちが自殺したり、亡くなったりといった背景にはいじめ問題も関わることもある。精華町が学校現場も含め、子どもの未来のことも考えながら、いじめ対策の組織も含め精一杯の知恵をしばりながら取り組む中で、府教委がそういった報告を受けとめてくれて頂いているのなら安心である。

伊藤委員長            部活動ではいろんな立派な業績を収められている。

太田教育長            学力調査の速報値について、全体的に見ることも意味はあるが、個々の学校ごとの分析も重要である。学校別の数字を比較するだけでは意味がなく、そういう状況になっている背景の中で学校の指導がどのように反映されているかをしっかり分析をしていく必要はある。毎年行っている分析のための委員会があるので、そこで詳細な分析をしたいと考えている。

伊藤委員長            A、B、Cと3つ中学校があるが、実際A、BとCの間には格差はあるのか。

総括指導主事            例えばA校のデータだけみると都道府県別の上位にランキングされているデータと同じくらいであり、3校の平均を考慮すると格差は見受けられる。

蓑毛委員            図書館年報9ページの「学校との連携」の中で精華中学校への団体貸出が5冊と他の学校に比べ極端に少ないようであるがなぜか。

図書館長            精華中学校は町立図書館に特に近いことから、個人で直接来ていただいているのではないかと思われる。

## (5) 後援関係

8月から9月に受け付けた教育委員会後援事業の報告は、総数6件、学校教育課関係は0件、生涯学習課関係が7件、うち社会教育係関係が5件、図書係は0件、社会体育係関係は2件。

(6) 10月の行事予定

(7) 閉会

委員長が第9回教育委員会の閉会を宣言。